

直方市立学校施設の現状について

2025.3.25 学校規模適正化基本計画検討委員会（第二回）

直方市教育総務課

1. 学校施設を取り巻く環境

(1) 学校施設の役割

学校施設は、児童生徒等の学習・生活の場であり、公教育を支える基本的施設となっています。また、地域のコミュニティの拠点として生涯にわたる学習、文化スポーツなどの活躍の場として利用される身近な公共施設であるとともに、災害発生時には地域の避難所としての役割を果たす多機能かつ重要な施設となっています。

このような学校施設の役割を踏まえ、児童生徒の安全を守り、安心して機能的かつ豊かな教育環境を確保するとともに地域住民の安全と安心の確保に資することを目的として、地方公共団体の創意工夫を生かしながら学校施設の整備を進めていく必要があります。

(2) 国の学校施設整備基本方針

国の「公立の義務教育諸学校等施設の整備に関する施設整備基本方針（令和3年4月改正）」には、次の5項目に留意し、学校施設の整備を進めることが重要との記載があります。

①老朽化対策を図る整備

- ・安全性を最優先として、施設の長期的な使用を図るための改修（長寿命化改良）
- ・従来の改築中心の整備から長寿命化改良への移行
- ・予防改修を積極的に実施する
- ・教育環境の質的向上を図るとともに、現代の社会的要請に応じた整備を行うこと
- ・単一の学校施設の老朽化対策のみにとどまらない幅広い視点からの整備

②新時代の学びを支える安全・安心な教育環境の確保を図る整備

災害や感染症等の発生時においても児童生徒等が不安なく学びを継続することができるようにするため、安全・安心な教育環境を確保することが不可欠である。

- ・耐震性の確保
- ・防災機能の強化
- ・バリアフリー化
- ・衛生環境の改善
- ・空気調和設備の整備
- ・防犯対策など安全性の確保を図る整備

③教室不足の解消等を図る整備

- ・必要な水準を安定的に確保することが重要
- ・新增築整備のみならず、既存施設を大規模改修して活用するなど、多様な手法を検討する

④教育環境の質的な向上を図る整備

- ・様々な社会的要請を踏まえ、これに適切に対応するために教育環境の質的な向上を図ることが必要

⑤施設の特性に配慮した教育環境の充実を図る整備

- ・産業教育施設、幼稚園施設、学校給食施設、スポーツ施設

(3) 国の学校施設整備に関する予算の動向

①国の予算額の動向

国の公立学校施設整備費予算額は、平成 24 年度の 3,859 億円をピークに、その後は減少傾向となっていました。近年は、経済対策、老朽化対策、物価変動の反映等による建築単価改訂の影響などにより増加傾向にあります。

また、次のように当初予算に年度途中で補正予算を積み増す傾向にあります。

令和 3 年度 総額 2,000 億円（当初 688 億円、補正 1,312 億円）

令和 4 年度 総額 2,000 億円（当初 688 億円、補正 1,312 億円）

令和 5 年度 総額 1,890 億円（当初 687 億円、補正 1,203 億円）

令和 6 年度 総額 2,241 億円（当初 683 億円、補正 1,558 億円）

令和 7 年度 総額 2,757 億円（当初 681 億円、補正 2,076 億円）

国の予算動向に対応した機動的な対応が求められています。

②国費の充当割合

公立学校の施設整備には、義務教育諸学校等の施設補の国庫負担に関する法律に基づき、公立学校施設整備費負担金と学校施設改善交付金により、国庫補助があります。

○負担金：校舎等の新增築（負担割合：原則 1/2）

○交付金：老朽化対策等大規模改造、改築等（算定割合：1/3～1/2）

しかしながら、国の基準単価と実勢単価の差額の影響等により、事業費全体にかかる国費の充当割合は、実質的には 4 分の 1 程度に止まる傾向にあります。

2. 直方市の学校施設の現状

(1) 直方市学校施設等長寿命化計画

令和元年5月に、「直方市学校施設等長寿命化計画」を策定しています。

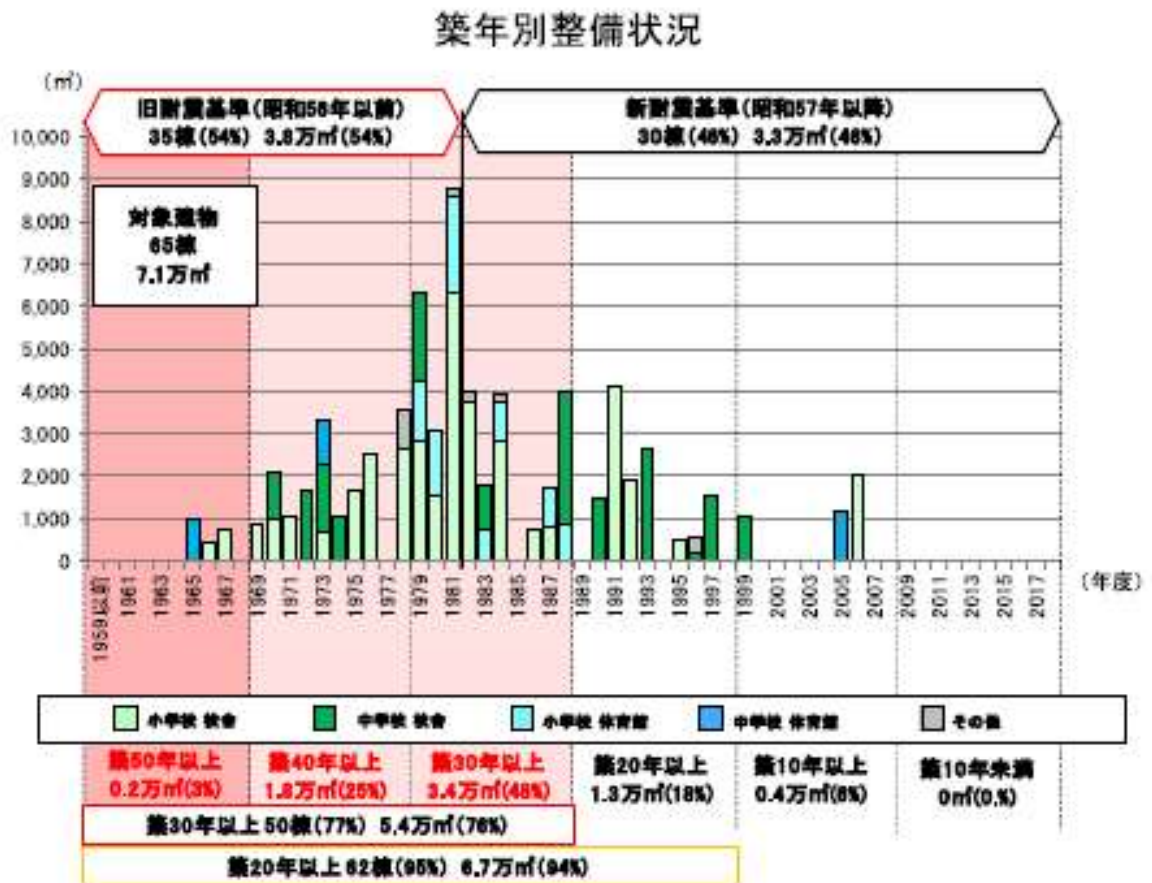
この計画は、「直方市公共施設等総合管理計画」の分野別個別施設計画の1つとして定められたものです。直方市の小中学校の実態を把握及び分析し、直方市の実情に即した学校施設の整備の基本的な方針や施設整備の水準について示し、それが効率的かつ効果的に実施されることを目的としています。同時に、本計画は、改築・改修等に関する優先順位付けの考え方を整理し、財政負担の軽減やコスト平準化を図ることも目指した計画となっています。

本計画の対象施設は、65棟あります。（※倉庫、部室、給食室等、概ね200㎡以下の建物は本計画の対象外です。）

(2) 建築年度別の整備状況

直方市には、小学校11校、中学校4校の15校があります。

1965（昭和40）年から1985（昭和60）年の間に、多くの校舎等が建設されており、今後これらの校舎等について建替えや改修の検討が必要となります。



直方市学校施設等長寿命化計画（令和元年5月）

(3) 部位別劣化状況

表 部位別劣化状況

		A	B	C	D	合計（棟数）
1. 校舎	屋上等	11 (25%)	18 (41%)	2 (5%)	13 (30%)	44
	外壁	15 (34%)	19 (43%)	3 (7%)	7 (16%)	
	内部仕上	4 (9%)	28 (64%)	12 (27%)	0	
2. 体育館	屋上等	7 (47%)	1 (7%)	0	7 (47%)	15
	外壁	10 (67%)	5 (33%)	0	0	
	内部仕上	11 (73%)	3 (20%)	1 (7%)	0	
合計		58 (33%)	74 (42%)	18 (10%)	27 (15%)	



（A：概ね良好、B：部分的に劣化、C：広範囲に劣化、D：早急に対応必要）

直方市学校施設等長寿命化計画（令和元年5月）

(4) 学校別の評価結果

建物基本情報														新築建物の健全性										
通し 番号	学校 調査 番号	施設名	建物名	建築年	固定資産 台帳番号	用途区分		構造	階数	延床 面積 (㎡)	建築年度		築年数	耐震安全性			長寿命化判定			評価 等級	内装 仕上	電気 設備	機械 設備	緑地 状況
						学校種別	建築物用途				西暦	和暦		基準	診断	補強	調査 年度	評価 年度	結果上 の区分					
通し 番号	学校 調査 番号	施設名	建物名	建築年	固定資産 台帳番号	学校種別	建築物用途	構造	階数	延床 面積 (㎡)	西暦	和暦	築年数	基準	診断	補強	調査 年度	評価 年度	結果上 の区分	評価 等級	内装 仕上	電気 設備	機械 設備	緑地 状況
1	0001	直方南小学校	校舎	2001		小学校	校舎	RC	2	1,551	1871	246	41	旧	済	済	H25	20	基準適合	A	A	C	C	65
2	0001	直方南小学校	校舎	2001		小学校	校舎	RC	2	1,243	1880	255	38	旧	済	済	H25	25.7	基準適合	B	B	C	B	46
3	0001	直方南小学校	屋内運動場	2001		小学校	体育館	S	1	760	1883	258	35	新	-	-	-	-	基準適合	B	B	C	B	70
4	0002	直方北小学校	校舎	2001		小学校	校舎	RC	2	840	1967	242	23	旧	済	済	H25	16.2	基準適合	A	A	C	A	70
5	0002	直方北小学校	校舎	2001		小学校	校舎	RC	2	857	1969	244	48	旧	済	済	H25	16.2	基準適合	A	A	C	A	70
6	0002	直方北小学校	校舎	2001		小学校	校舎	RC	2	2,147	1876	254	38	旧	済	済	H25	20.7	基準適合	B	B	C	B	51
7	0002	直方北小学校	屋内運動場	2001		小学校	体育館	S	1	818	1887	252	31	新	-	-	-	-	基準適合	B	B	C	B	56
8	0003	直方西小学校	校舎	2001		小学校	校舎	RC	2	414	1967	242	23	旧	済	済	H25	16.2	基準適合	B	A	B	C	73
9	0003	直方西小学校	校舎	2001		小学校	校舎	RC	2	358	1876	251	42	旧	済	済	H25	16.7	基準適合	B	A	C	C	55
10	0003	直方西小学校	屋内運動場	2001		小学校	体育館	S	1	758	1881	256	37	旧	済	済	-	-	基準適合	A	A	A	A	100
11	0003	直方西小学校	校舎	2001		小学校	校舎	RC	2	1,898	1892	24	28	新	-	-	-	-	基準適合	B	B	C	B	75
12	0004	新入小学校	校舎	2001		小学校	校舎	RC	2	422	1968	241	22	旧	済	済	H25	17.5	基準適合	A	A	C	C	62
13	0004	新入小学校	校舎	2001		小学校	校舎	RC	2	1,873	1878	250	42	旧	済	済	H25	17.2	基準適合	C	B	C	C	51
14	0004	新入小学校	校舎	2001		小学校	校舎	RC	2	888	1879	254	39	旧	済	済	H25	23.4	基準適合	A	A	B	B	64
15	0004	新入小学校	屋内運動場	2001		小学校	体育館	S	1	761	1878	254	39	旧	済	済	-	-	基準適合	B	B	A	A	52
16	0004	新入小学校	校舎	2001		小学校	校舎	RC	2	818	1885	247	23	新	-	-	-	-	基準適合	B	B	C	B	75
17	0005	徳田小学校	校舎	2001		小学校	校舎	RC	2	866	1870	245	46	旧	済	済	H25	21.2	基準適合	B	A	A	A	92
18	0005	徳田小学校	校舎	2001		小学校	校舎	RC	2	1,783	1876	251	42	旧	済	済	H25	20.5	基準適合	A	A	C	C	62
19	0005	徳田小学校	校舎	2001		小学校	校舎	S	1	202	1880	255	38	旧	済	済	-	-	基準適合	C	B	C	B	72
20	0005	徳田小学校	校舎	2001		小学校	校舎	RC	2	2,442	1881	256	31	旧	済	済	H25	22	基準適合	A	A	B	B	64
21	0005	徳田小学校	屋内運動場	2001		小学校	体育館	S	1	806	1884	255	34	新	-	-	-	-	基準適合	B	B	C	B	70
22	0006	上郷野小学校	校舎	2001		小学校	校舎	RC	2	1,112	1878	253	46	旧	済	済	H25	23.8	基準適合	B	B	C	B	51
23	0006	上郷野小学校	屋内運動場	2001		小学校	体育館	S	1	781	1881	258	37	旧	済	済	-	-	基準適合	A	A	A	A	92
24	0006	上郷野小学校	校舎	2001		小学校	校舎	RC	2	822	1887	252	31	新	-	-	-	-	基準適合	B	B	C	B	75
25	0006	上郷野小学校	校舎	2001		小学校	校舎	RC	2	1,884	2006	248	12	新	-	-	-	-	基準適合	B	B	A	A	85
26	0007	下瀬小学校	校舎	2001		小学校	校舎	RC	2	702	1873	248	45	旧	済	済	H25	18.2	基準適合	A	A	B	C	75
27	0007	下瀬小学校	校舎	2001		小学校	校舎	RC	2	2,825	1884	259	34	新	-	-	-	-	基準適合	B	B	C	B	51
28	0007	下瀬小学校	屋内運動場	2001		小学校	体育館	S	1	852	1888	252	36	新	-	-	-	-	基準適合	B	B	C	B	70
29	0008	鎌地小学校	校舎	2001		小学校	校舎	RC	2	2,758	1891	240	27	新	-	-	-	-	基準適合	B	B	C	B	51
30	0008	鎌地小学校	屋内運動場	2001		小学校	体育館	S	1	822	1875	254	38	旧	済	済	H24	-	基準適合	A	A	A	A	100
31	0009	中島小学校	校舎	2001		小学校	校舎	RC	2	1,526	1878	253	46	旧	済	済	H25	23.8	基準適合	B	B	C	C	56
32	0009	中島小学校	校舎	2001		小学校	校舎	RC	2	1,588	1881	243	21	新	-	-	-	-	基準適合	B	B	C	B	75
33	0009	中島小学校	屋内運動場	2001		小学校	体育館	S	1	750	1880	250	36	旧	済	済	-	-	基準適合	A	A	A	A	100
34	0010	熊本小学校	屋内運動場	2001		小学校	体育館	S	1	761	1880	250	36	旧	済	済	H23	-	基準適合	A	A	A	A	100
35	0010	熊本小学校	校舎	2001		小学校	校舎	RC	2	3,774	1882	257	36	新	-	-	-	-	基準適合	B	B	C	B	34
36	0011	直方東小学校	校舎	2001		小学校	校舎	RC	2	3,852	1883	256	37	旧	済	済	H25	25.6	基準適合	A	A	B	B	68
37	0011	直方東小学校	屋内運動場	2001		小学校	体育館	S	1	772	1881	258	37	旧	済	済	-	-	基準適合	A	A	A	A	100
38	0011	直方東小学校	校舎	2001		小学校	校舎	RC	2	782	1888	251	32	新	-	-	-	-	基準適合	B	B	C	B	75

建物基本情報													建築物体の健全性					長寿命化判定								
通し 番号	学校 調査 番号	施設名	建物名	建築年	固定資産 台帳 番号	用途区分		構造	階数	延床 面積 (㎡)	建築年度		築年 数	耐震安全性			長寿命化判定		評価 等級・ 補修・ 工費	計画 期間	内訳 比率	電気 設備 評価	機械 設備 評価	標準 寿命 (年)		
						学校種別	建築物用途				西暦	和暦		基準	診断	補強	調査 年度	評価 年度							結果上 の区分	結果上 の区分
通し 番号	学校 調査 番号	施設名	建物名	建築年	固定資産 台帳 番号	学校種別	建築物用途	構造	階数	延床 面積 (㎡)	西暦	和暦	築年 数	基準	診断	補強	調査 年度	評価 年度	結果上 の区分	結果上 の区分	評価 等級・ 補修・ 工費	計画 期間	内訳 比率	電気 設備 評価	機械 設備 評価	標準 寿命 (年)
39	3881	直方第一中学校	校舎	2001		中学校	校舎	RC	3	2,118	1879	254	38	旧	済	済	H25	20.4	基準適合	A	A	B	B	B	64	
40	3881	直方第一中学校	校舎	2001		中学校	校舎	RC	3	2,224	1893	249	26	新	-	-	-	-	基準適合	B	B	B	B	B	78	
41	3881	直方第一中学校	屋内運動場	2001		中学校	体育館	RC	1	1,188	2000	247	18	新	-	-	-	-	基準適合	B	B	A	A	A	91	
42	3882	直方第二中学校	校舎	2001		中学校	校舎	RC	2	3,676	1872	242	46	旧	済	済	H25	17.8	基準適合	B	B	C	C	B	53	
43	3882	直方第二中学校	屋内運動場	2001		中学校	体育館	RC	2	1,894	1875	245	45	旧	済	済	H25	22.1	基準適合	A	A	A	A	A	93	
44	3882	直方第二中学校	校舎	2001		中学校	校舎	RC	3	1,090	1874	248	44	旧	済	済	H25	18.7	基準適合	B	B	C	C	B	51	
45	3882	直方第二中学校	校舎	2001		中学校	校舎	RC	2	1,043	1883	259	36	新	-	-	-	-	基準適合	B	B	B	B	B	70	
46	3882	直方第二中学校	校舎	2001		中学校	校舎	RC	2	381	1893	249	25	新	-	-	-	-	基準適合	B	B	B	B	B	75	
47	3882	直方第二中学校	校舎	2001		中学校	校舎	RC	3	1,811	1897	246	21	新	-	-	-	-	基準適合	B	B	B	B	B	75	
48	3882	直方第二中学校	校舎	2001		中学校	校舎	RC	3	1,018	1999	241	19	新	-	-	-	-	基準適合	B	B	A	A	A	91	
49	3883	直方第三中学校	校舎	2001		中学校	校舎	RC	2	1,112	1870	243	46	旧	済	済	H25	22	基準適合	B	B	C	B	A	76	
50	3883	直方第三中学校	屋内運動場	2001		中学校	体育館	RC	2	862	1885	240	23	旧	済	済	H21	25.7	基準適合	C	A	A	A	A	92	
51	3883	直方第三中学校	校舎	2001		中学校	校舎	RC	3	3,555	1873	243	45	旧	済	済	H25	17.5	基準適合	A	A	A	A	A	100	
52	3883	直方第三中学校	校舎	2001		中学校	校舎	RC	2	228	1898	248	23	新	-	-	-	-	基準適合	A	A	B	B	B	84	
53	3883	直方第三中学校	校舎	2001		中学校	校舎	RC	2	1,265	1880	242	28	新	-	-	-	-	基準適合	B	B	B	B	B	75	
54	3883	直方第三中学校	校舎	2001		中学校	校舎	RC	2	170	1890	247	26	新	-	-	-	-	基準適合	B	C	B	B	B	69	
55	3884	熊本中学校	屋内運動場	2001		中学校	体育館	RC	1	798	1878	253	46	旧	済	済	H21	23.4	基準適合	A	A	A	A	A	100	
56	3884	熊本中学校	校舎	2001		中学校	校舎	RC	2	1,765	1888	252	20	新	-	-	-	-	基準適合	B	B	B	B	B	75	
57	3884	熊本中学校	校舎	2001		中学校	校舎	RC	2	1,770	1888	253	30	新	-	-	-	-	基準適合	B	B	B	B	B	75	
58	3884	熊本中学校	校舎	2001		中学校	校舎	RC	1	76	1988	253	30	新	-	-	-	-	基準適合	B	C	B	B	B	65	
59	3884	熊本中学校	校舎	2001		中学校	校舎	RC	1	124	1888	253	30	新	-	-	-	-	基準適合	B	B	C	B	B	82	

※調査実施時期：平成30年8月-平成30年10月

直方市学校施設等長寿命化計画（令和元年5月）

3. 直方市の学校施設の課題

(1) 老朽化への対応

近年の学校施設の整備は、限られた財源の中、児童生徒や教職員の安全に直結する建物の構造体の耐震化や、衛生面・バリアフリー化・防災機能の強化などの観点からトイレの洋式化を優先して実施してきました。

その結果、策定した「直方市学校施設長寿命化計画」どおりの整備改修は一部の実施に止まっており、屋上防水・外壁・体育館屋根・体育館床の経年劣化は進み、老朽化対策は喫緊の課題となっています。

・ 屋上防水の劣化が確認される箇所



防水層にひびがある



防水層の劣化が25%以上

・ 外壁や防水の劣化により雨漏りがしている箇所、外壁劣化の箇所



エキスパンションジョイント部分からの雨漏り



モルタルの剥落



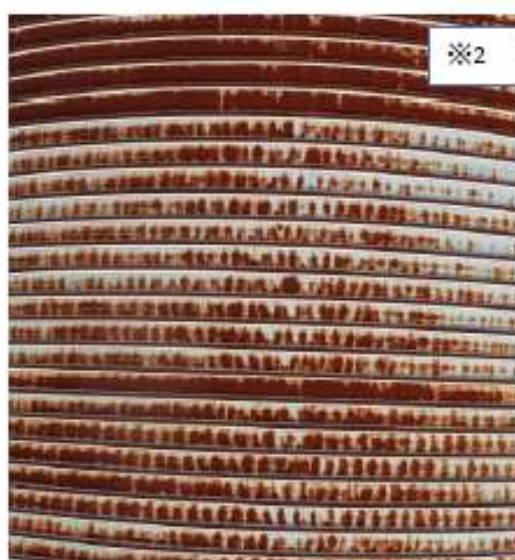
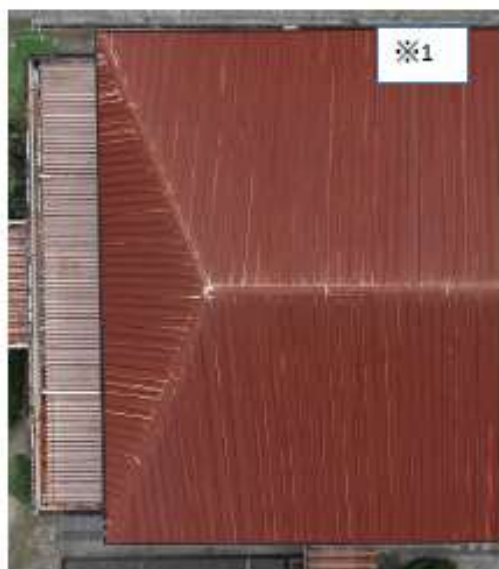
鉄筋が露出



塗装の剥がれ

・将来的に危険の発生が予測される主要な修繕箇所（金額は概算）

学校区分	箇所	税込概算金額	状況
小学校	体育館屋根※1	150,405,640	屋根の劣化のための雨漏り
小学校	体育館屋根※2	199,236,840	屋根の劣化のための雨漏り
中学校	体育館屋根	162,057,280	屋根の劣化のための雨漏り
小学校	校舎屋根	38,212,900	防水層劣化。数年中に雨漏りの恐れ
小学校	体育館床	4,807,000	塗装の摩耗による劣化
小学校	体育館床	5,473,600	塗装の摩耗による劣化
小学校	体育館床	5,539,600	塗装の摩耗による劣化



・「直方市学校施設等長寿命化計画」の対象外だが、整備改修が必要なもの

学校区分	箇所及び内容	金額
全学校	体育館エアコン設置	3,000万円～5,000万円／1校あたり
全学校	特別教室エアコン設置	200万円～300万円／1教室あたり
全学校	校舎内LED化工事	
全学校	体育館LED化工事	200万円～300万円／1校あたり
小学校	給食室改修	

(2) 多様なニーズへの対応

学校施設は、児童生徒の学習・生活の場であるとともに、地域活動の場としても利用される身近な公共施設であるため、つぎのような施設の充実が求められています。

○教育環境の質的向上

- ・ 多様な教育活動
- ・ 小人数による指導
- ・ 一人一台端末環境下での情報通信技術の活用
- ・ 他の公共施設との複合化や共用化

○防災機能の強化

- ・ 災害発生時の地域の避難所
- ・ トイレ、空気調和設備、非常用電源等

○バリアフリー化

- ・ 障がいのある児童生徒への対応
- ・ 災害発生時の地域の避難所
- ・ 車椅子使用者用トイレやスロープの設置

○衛生環境の改善

- ・ 感染症対策
- ・ 様式、乾式のトイレ整備
- ・ ドライシステムの学校給食施設の整備

○防犯対策などの安全性の確保

- ・ 不審者侵入の防止等、児童生徒等を犯罪から守るための防犯対策

(3) 学校の小規模化への対応

今後、少子化の進行に伴う児童生徒数の減少が予想される中、学校の小規模化が進むと見込まれるため、施設整備を行う上で考慮すべき課題となっています。

4. 今後に向けて

(1) 老朽化対策を図る整備

中長期的な維持・改築等に係るトータルコストを縮減・予算の平準化を実現するため、適切な時期に長寿命化改修を実施し、目標とする耐用年数まで使用できるように取組みます。ただし、建築から40年以上が経過し目標耐用年数までの期間が少なく老朽化が著しい建物については、かえって財政負担が増加する可能性があることから、その時の財政状況や費用対効果、有利な国費の活用等を検証しながら長寿命化改修の実施の有無や対策を検討していきます。

(2) 新時代の学びを支える安全・安心な教育環境の確保を図る整備

学校は、児童生徒や教職員が長時間過ごす場所であり、施設が原因となる事故等を防止し、安全・安心を確保することが何より重要です。近年の猛暑や感染症の拡大防止のために、空調設備やトイレの改修を進めていきます。

また、近年近隣の学校でも校舎外壁の落下する事案が発生しています。快適性の確保だけでなく、安全・安心の確保につながる改修等も計画的に進めていきます。

(3) 教室不足の解消等を図る整備

国の方針に基づく中学校35人学級の段階的实施や、特別支援学級の増加等により、教室数が不足する学校が発生する可能性があります。必要に応じて特別教室の転用などにより教室数の確保に努め、必要な水準を安定的に確保することに努めます。

(4) 教育環境の質的な向上を図る整備

学習指導要領の改訂や情報通信技術の活用等の教育内容・教育方法等の変化に対応する教育環境の質的な向上を図ることが重要です。一人一台端末環境を支える教室環境の整備を図るため、校内通信環境の整備に努めます。

また、太陽光をはじめとする再生可能エネルギーの導入等、脱炭素社会の実現に寄与するための取組みも行います。

(5) 施設の特性に配慮した教育環境の充実を図る整備

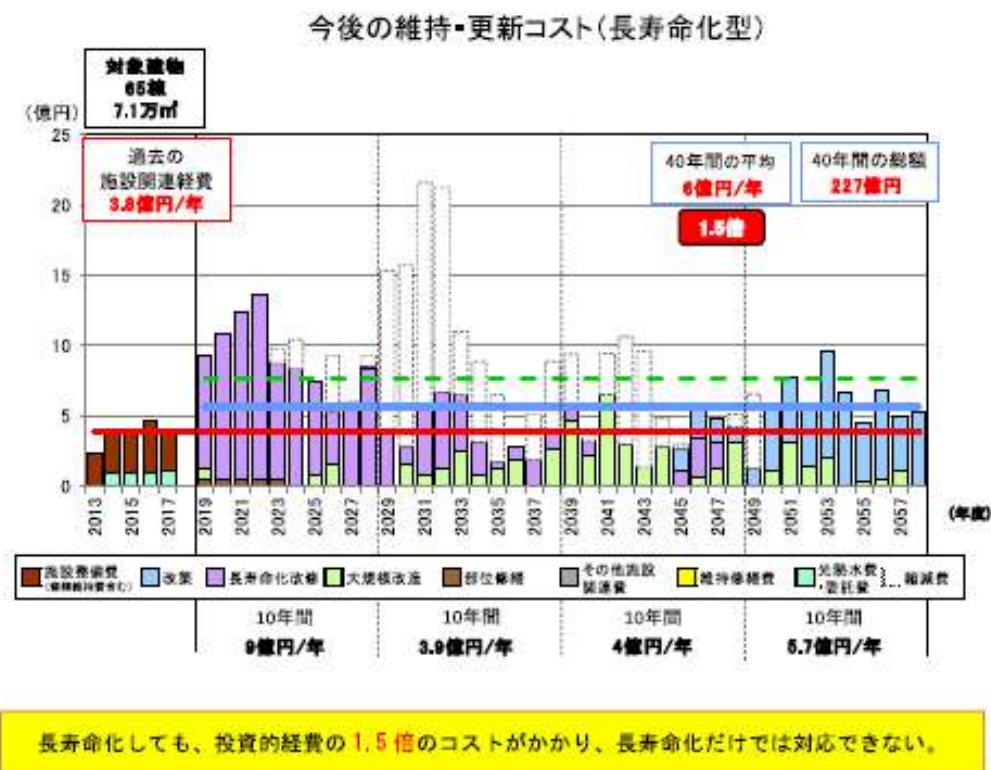
給食施設については、床のドライ化や老朽化した施設の改修に相当の年数と経費が必要となります。プール等の体育施設についても、通常の維持費のほか、老朽化による改修が必要となってきます。より良い教育環境を持続的に提供していくために、教育内容や経費面等の総合的な視点で、様々な検討を行っていきます。

※「直方市学校施設等長寿命化計画」の見直し

現在の「直方市学校施設等長寿命化計画」には、次のとおり問題があると考えています。

- ・ 策定（令和元年５月）から一定年数が経過した。
- ・ 長寿命化計画作成後、計画通りに改修等の実施ができていない。
- ・ 学校施設のうち、200 ㎡以下の建物（給食室、倉庫等）が、計画に含まれていない。
- ・ 計画作成時、校規模適正化や学校の統廃合のことが考慮されておらず、現状の学校施設のほとんどを維持する前提での計画である。
- ・ 計画通りの実施ができていたとしても、財政面からの更新投資可能額に収まっていない。（下図「今後の維持・更新コスト（長寿命型）」参照）
- ・ 計画作成時より、原材料費や光熱水費の大幅な高騰がみられ、維持・更新コストの再計算が必要である。

そのため、「直方市学校施設等長寿命化計画」につき、見直しを実施する必要があると考えております。直方市公共施設総合管理計画における学校教育系施設の方針や、公共施設の移管・削減目標を確認しつつ、また、学校規模適正化の取組みに合わせ、時期を逃さぬよう「直方市学校施設等長寿命化計画」の見直しに取組みます。



直方市学校施設等長寿命化計画（令和元年５月）